

2022年3月4日(金)から
Web申込受付開始!

※詳しくは、裏面をご覧ください。



ぽすくま

© JAPAN POST Co., Ltd.

※ぽすくまは日本郵便のキャラクターです

2021年度は全国約495万人の
児童・生徒の皆さんに参加いただきました

2022年度 手紙の書き方 体験授業のご案内



年賀状



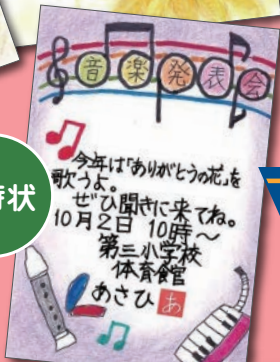
暑中見舞い



お礼状



招待状



GIGAスクール対応!

『手紙の書き方』授業用コンテンツ

2022年度も手紙テーマ別・学年別に用意します!

4月下旬～Webサイトで公開(裏面もご覧ください)

すべて無料

◆2022年度「手紙の書き方体験授業」教材のご案内

※表紙デザインは2021年度のものです。

授業用テキスト/ 教師用指導書

- ※どの学年のテキストもはがき作品例を一新しています。
- ※教師用指導書には、時数別の授業実施例を掲載しています。
- ※テキスト・指導書はB5サイズです。

発送開始時期 5月上旬～(予定)



●低学年(1・2年生)用



●中学年(3・4年生)用



●高学年(5・6年生)用



●中学校用



●高等学校用

宛名書きテンプレート

※小学校用

発送開始時期 5月上旬～(予定)



郵便はがき

※小・中・高等学校共通

発送開始時期 (予定)
通常はがき 5月上旬～
年賀はがき 11月中旬～



●通常はがき (通年/夏のお便り)



●2023年用 年賀はがき
画像は2022年用のものです

便箋・封筒

※小学校(中・高学年)用、
中・高等学校用

発送開始時期 5月上旬～(予定)



●封筒 (1人1枚)



●便箋 (1人2枚)



3月4日(金)から

教材・送料とも無料

Webサイトで先行申込受付開始!

★FAX申込書は、小・中・高等学校の各「教材申込フォーム」のページからダウンロードできます★



※Webサイトのトップページのイメージは、時期によって変更となる可能性があります。

手紙の書き方体験授業

検索

Web申込特典

特大はがきポスター

1枚に2枚

W56.8cm×H84.1cmのビッグはがき! 授業でのあて名書きの指導にご活用ください。 ※マーカーは付属していません。



2022年度教材の詳しい内容は、「教材紹介」ページをご覧ください。(小・中・高等学校の各紹介ページがあります)

2022年度教材のお申込みは、小・中・高等学校のそれぞれの「教材申込ボタン」をクリックして「教材申込フォーム」へお進みください。(特別支援学校専用の各申込フォームも用意しています)

手紙授業に役立つ“新”コンテンツをぜひご活用ください!

GIGA スクール対応

教室の対面授業にも、オンライン授業にも使えるICT活用教材です!

4月下旬～

「手紙の書き方」コンテンツ

小学校(低/中/高学年)用、中学校用、高等学校用のそれぞれのICT活用コンテンツをWebサイトにアップ!



手紙のテーマ(暑中見舞い、年賀状、お礼状など)別に用意します。

提示用コンテンツ

教師用指導

授業動画

ダウンロード教材



●小学校(高学年用)

●小学校(高学年用)

●小学校(中学年用)

●小学校(低学年用)

●中学校用

●中学校用

※画像はコンテンツの一例です。

レッツ トライ!

授業開始時の導入として、授業後の学習の振り返りとして

公開中

郵便クイズ



2022年度からは、小学校に加えて中学校・高等学校も参加可能に!

4月下旬～

文通相手校お探しサイト



他の地域の子どもたちとやり取りする

文通相手校を

募集する

探す



本サイトのニックネームによるメッセージ交換機能を使って、文通の条件が合う相手校を見つけます

文通決定後

実際のはがきのやり取りを実施 学校で取りまとめてそれぞれ学校あてに郵送

2021年度はがきでコミュニケーション

全国発表大会

3月上旬～

2022年2月20日にオンラインで開催した全国発表大会のダイジェスト版をYouTube(ばすくまチャンネル)で配信します。受賞者の心温まる発表をぜひご覧ください。



2021年度も大好評! 小学校は全体の7割を超えるなど、たいへん多くの学校に参加いただきました。

●2021年度「手紙の書き方体験授業」取組状況と教師の声

(申込数は2022年2月15日現在)



小学校
約14,320校
(約344万人)

- 【2年生】実際に手紙を書く機会が減っているので、貴重な体験になったのではないかと思います。子どもたちは年賀状や季節の挨拶が日本特有の文化だと気づいたようです。授業を実施したことで手紙への意識が変わり、手紙を出したいと思う児童が増えました。
- 【4年生】国語で手紙の書き方についての単元があるので、それに合わせて社会見学の際のお礼状を書く際にはがきを使用しました。具体的な作例や文例が示されていたため、子どもたちにもわかりやすかったようです。
- 【6年生】本年度、子どもたちが所有するPCを活用して、オンデマンドで授業を実施しました。多くの児童がテキストを使用して学習をすすめ、はがきに清書し、投函するところまでできました。端末活用授業は初めての取組みで不安でしたが、コンテンツが分かりやすく概ねうまくいきました。



中学校
約4,770校
(約111万人)

コンテンツの授業動画の説明は、全国学力調査の内容に触れるなど、中学生の興味・関心を高めていたと感じます。この授業をきっかけにして、手紙を送ろうという生徒が多数いました。また、生徒・保護者との三者面談でもこの話題になりました。



高等学校
約2,320校
(約41万人)

暑中見舞いの授業を行い、自分の言葉で、自分の文字で伝えることの大切さや他の伝達方法とのニュアンスの違いについても考えることができました。また、夏休みにインターンシップを控えていたので、その後のお礼状を書く指導にもつながるよいきっかけになりました。